



別記第6号様式

令和7年度 函館市介護人材養成活動支援金実績報告書

令和8年4月22日

函館市長 大 泉 潤 様

住所 函館市柳町14番23号

法人名 学校法人函館大妻学園
および代表者氏名 理事長 池田 延己

令和7年6月6日函福地をもって交付金の交付の決定を受けた活動等は、
令和8年3月31日完了したので、関係書類を添えて報告します。

交付金交付決定通知額 金 1,500,000円

交付金領収済額 金 0円

交付金領収未済額 金 1,500,000円

活 動 実 績 書

申請者の概要	設 立 年 月 日 大正13年4月1日
	構 成 員 生徒数 334名 教職員数 39名
	営む主な事業 学校教育法に基づく学校教育事業
活動の内容	1. 将来, 介護人材の確保は重要な課題となっている。新たな働き手となる小学生や中学生に対して, 介護や福祉に興味・関心を持ってもらえるように, 高齢者社会における介護技術の一步目として高齢者疑似体験や車イス体験を行った。 (1)実施期日 令和7年6月9日～令和8年3月31日 (2)実施場所 函館市内及び函館市近郊の小・中学校 (3)参加者計 526名 (4)実施回数 8回 (5)内容 ・自校生徒による介護の魅力などについての紹介 ・高齢者が利用する車イスの操作手順や扱い方, 及び障害物に対する対応の仕方などを体験させた。 (6)詳細 ①1回目 ・実 施 日 令和7年6月9日 ・実施場所 湯川中学校 ・対 象 者 1年生 ・参加者数 77名 ②2回目 ・実 施 日 令和7年11月21日 ・実施場所 五稜郭中学校 ・対 象 者 1年生 ・参加者数 66名 ③3回目 ・実 施 日 令和7年11月26日 ・実施場所 青柳中学校 ・対 象 者 1年生 ・参加者数 85名

	④ 4回目 ・実施日 令和7年11月27日 ・実施場所 戸倉中学校 ・対象者 1年生 ・参加者数 71名 ⑤ 5回目 ・実施日 令和7年12月23日 ・実施場所 北日吉小学校 ・対象者 5年生 ・参加者数 41名 ⑥ 6回目 ・実施日 令和8年2月6日 ・実施場所 赤川中学校 ・対象者 1年生 ・参加者数 87名 ⑦ 7回目 ・実施日 令和8年2月10日 ・実施場所 北中学校 ・対象者 1年生 ・参加者数 63名 ⑧ 8回目 ・実施日 令和8年2月20日 ・実施場所 本通中学校 ・対象者 3年生 ・参加者数 36名 2. 今年度からの新たな取り組みとして、「愛のふくし体験〜知ってほしい福祉の楽しさ、ここにあり！〜」と題したイベントを実施した。 (1) 目的 高齢化の進行や介護人材の不足といった地域が抱える課題に対し、子どもたちが「福祉」への理解と関心を深めることを目的とする。また、将来の進路選択の一つとして福祉・介護の仕事を考えるきっかけを提供し、地域を支える担い手の育成につなげる。 (2) 実施期日 ①令和7年7月27日、②9月23日、③12月7日 (3) 実施場所 函館大妻高等学校 福祉科実習棟 (4) 実施回数 3回 (5) 詳細 ① 1回目 ・参加者数 生徒17名、保護者6名 ② 2回目 ・参加者数 生徒 9名、保護者3名
--	---

ふくし
ふくし体験
福祉科
実習棟

	③ 3 回目 ・参加者数 生徒 1 2 名, 保護者 5 名 【参加校】 ・小学校：柏野, 駒場, 神山, 北美原, 中の沢, 東山, 深堀, 本通, 久根別 ・中学校：青柳, 北, 駒場, 巴, 浜分, 深堀, 本通
活動による効果	介護人材の確保に向けて, 将来の担い手である小中学生に, 介護について興味・関心を持ってもらい, 将来の進路・就職の選択肢として介護を担ってもらうことに期待が持てた。
備 考	1. 実施回数について 当初計画では函館市及び近郊の小・中学校を対象に 1 0 回程度予定し, 実際, 実施予定校と日程調整などを行ったが, 双方の行事等の都合から折り合いがつかず急遽中止になるなどで予定回数を下回る結果となった。しかし, 参加生徒に興味・関心をもってもらえることが出来たとともに, 地域福祉の観点からも成果があったものと考えている。 2. 講師の人件費について 令和 7 年度に教科「福祉」を担当する非常勤講師 1 名を採用し, 実習および授業を担当してもらった。しかし, 指導方針に沿った授業運営が困難であったため, 授業および実習の実施回数を減らす対応を行った。 その結果, 人件費については当初の予算額を大きく下回ることとなった。 また, 出前授業実施期間外の人件費を含んでいることについては, 講師は 4 月 1 日付で採用し, 同行する本校生徒の指導及び準備等も行うことから, 人件費は 4 月から発生すると判断したため。

- (注) 1. この様式は, 交付要綱別表 1 に掲げる基準 A に係る支援金の交付を申請し, または, 実績報告をする場合に使用すること。
2. 活動の内容は, 詳細に記載すること。(別紙も可)
3. その他必要と認めた書類を添付すること。

別記第4号様式

活動に係る収支決算書

収入の部

(単位:円)

項 目	本年度予算	本年度決算	差 引	内 訳
自己資金	95,000	152,707	57,707	
市補助金	1,500,000	1,500,000	0	
計	1,595,000	1,652,707	57,707	

支出の部

(単位:円)

項 目	本年度予算	本年度決算	差 引	内 訳
人件費支出	1,275,000	846,030	428,970	
広報費支出	120,000	117,100	2,900	物品配送費 赤帽 (8回) 12,000 円×4回 14,000 円×3回 27,100 円×1回
機器備品費支出	140,000	218,000	△78,000	車椅子 1 台 (背もたれ調整)
消耗品費支出	60,000	59,380	620	介助用消耗品
イベント等諸経費 (愛ふくし体験)	0	412,197	△412,197	R7 新規事業分 別紙参照
計	1,595,000	1,652,707	△57,707	

- (注) 1. この様式は、支援金の交付を申請し、または、これに係る実績報告をする場合に使用すること。
2. 項目は、詳細に区分して記載すること。
3. 金額の単位は、申請の場合「千円」、実績報告の場合「円」とすること。
4. 内訳には、金額の算出基礎その他必要な事項を記載すること。
5. その他必要と認めた書類を添付すること。

別紙

令和7年度福祉体験イベント（愛ふくし体験）諸経費

（単位：円）

No.	品名	数量	金額	イベント等経費
1	休日出勤手当 (1日3,000円)	5名×3回	45,000	45,000
2	用紙・インク・トナー他	一式	989,481	296,844
3	通信費	一式	234,510	70,353
合 計			1,268,991	412,197

※No.2 および 3 については、経費の30%をイベント等経費とする。